

# 川と川 環境共生都市 熊谷

熊谷市総合振興計画  
後期基本計画

熊谷市総合振興計画

後期基本計画

埼玉県熊谷市





2度の合併によって、熊谷、大里、妻沼、江南の4市町が20万都市「熊谷市」となり、早いもので6年が経過しました。また、合併後の平成20年3月に第1次総合振興計画を策定以来、5年が経過しています。

この第1次総合振興計画では、合併後の市民の融和を図り、新市の均衡ある発展と一体性を確立するとともに、激しさを増す都市間競争に打ち勝つための戦略を描き、総合振興計画に沿って市政を運営してまいりました。

そして、この度、前期計画の計画期間の終了を迎え、平成25年度から平成29年度までの5年間の、後期計画を策定する運びとなりました。

後期計画の策定にあたっては、将来都市像である『川と川 環境共生都市 熊谷』の実現に向け、めまぐるしく変貌する社会情勢に対応すべく、必要な見直しを行うとともに、新たな視点に立った施策も立案いたしました。

今後とも、市民一人ひとりが豊かな環境の中で誇りと希望を持って生き生きと生活できる「環境共生都市 熊谷」の実現のために、「信頼」、「誇り」、「笑顔」の三つの視点を念頭に、全力をあげて取り組んでまいります。

引き続き、熊谷市の飛躍のために一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

熊谷市長

富岡 清



## 市章

この紋章は、熊谷の名を円形に図案化したもので、上部右が「ク」を、同左が「マ」を、全体で「谷」を表わしています。

大正8年(1919年)に、熊谷町の紋章として、一般に懸賞募集し、同11年7月から使用されたものです。

昭和8年(1933年)4月1日の市制施行後、市の紋章として引き継がれ、平成17年(2005年)10月1日の合併による新「熊谷市」においても引き継がれました。

## 市のシンボルマーク



平成17年(2005年)10月1日に熊谷市、大里町、妻沼町が合併し、新「熊谷市」が誕生したことを記念して、公募により平成18年(2006年)4月22日に制定されたものです。

熊谷市(「くま」の2文字)が、限りない未来に向かって、大きく飛躍している様子をデザイン化したものです。

「青色」は、快晴日数日本一の熊谷市の青空と、自然豊かな荒川・利根川の流れを表し、「オレンジ色」は、熊谷の暑さと、市民の情熱を表しています。

平成19年(2007年)2月13日に熊谷市に江南町が合併し、20万都市が誕生したことを記念し、シンボルマークにサクラ色・ケヤキ色・ヒバリ色を新たに加えました。



## 市の花 サクラ

荒川堤は古くから桜の名所として親しまれ、平成2年(1990年)には「さくら名所100選」に選ばれました。開花の時期には、市内各所でサクラを楽しめます。

熊谷さくらマラソンやさくら祭などの行事も行われ、市民に広く親しまれています。



## 市の木 ケヤキ

ケヤキは大空に伸びる雄大さやたくましさを感じ、一年を通して、新緑や紅葉など、目を和ませます。

市役所通りやスポーツ文化公園、妻沼聖天山をはじめ、公園や学校など、市内各所で見られ、多くの方に親しまれています。

## 熊谷市民憲章

わたくしたち熊谷市民は、荒川、利根川を中心とした豊かな自然、歴史と伝統にはぐくまれた郷土に誇りと責任を持ち、明るく豊かなよりよいまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

すこやかな心と体をつくりましょう

教養を身につけましょう

しあわせな家庭をつくりましょう

きまりを守り親切にしましょう

豊かできれいなまちをつくりましょう

## 熊谷市歌

熊谷市教育研究会 作詞・作曲

- |  |  |  |
|--|--|--|
| 1. 豊かな流れがはぐくんだ<br>みどりの大地に風光る<br>心の翼羽ばたかせ<br>未来に向けて飛び立とう<br>熊谷 熊谷 わたしと伸びるまち | 2. 歴史に残る人々の<br>夢見た思いはいまここに<br>うけつぐ心たくましく<br>明日への希望胸に抱き<br>熊谷 熊谷 わたしを磨くまち | 3. 桜にここはずませ<br>祭りの太鼓に勇み立ち<br>実りの秋に笑顔満ち<br>けやきの枝に風わたる<br>熊谷 熊谷 わたしが誇るまち |
|--|--|--|



## 市の鳥 ヒバリ

荒川や利根川の河川敷をはじめ、市内の農耕地に数多く生息しています。

春の訪れを感じさせる美しいさえずりにより、多くの市民に親しまれています。



## 市の魚 ムサシトミヨ

ムサシトミヨはトゲウオ科の淡水魚で、小鳥のように巣をつくって子育てをする魚です。熊谷市の元荒川源流と元荒川上流の一部にのみ生息しています。絶滅の危機にさらされ、学術的にも貴重な魚です。平成3年(1991年)には清流のシンボルとして「県の魚」にも選ばれています。

## 序

1 計画策定の趣旨	8
2 計画の構成及び期間	9
施策の体系図	10

## 基本計画

## 第1章 魅力ある郷土をほこれるまち

施策1 全国に発信できる特色をつくる	14
施策2 歴史再発見のまちを推進する	16
施策3 スポーツによるまちづくりを推進する	18

## 第2章 市民と行政が協働するまち

施策4 市民活動を育成・支援する	20
施策5 人権尊重のまちをつくる	24
施策6 国際理解、国際・国内交流を推進する	26
施策7 男女共同参画社会を確立する	28
施策8 平和なまちをつくる	30

## 第3章 みんなで創る安全なまち

施策9 犯罪の起こらない環境を整備する	32
施策10 災害に強いまちをつくる	34
施策11 交通事故の減少・防止を図る	38
施策12 消費者被害を防止する	40
施策13 消防力を強化する	42

## 第4章 だれもが安心して健康に暮らせるまち

施策14 高齢者が元気に暮らせる環境をつくる	46
施策15 障害者が暮らしやすい環境をつくる	50
施策16 楽しく子育てできる環境をつくる	52
施策17 地域で支え合う心をはぐくむ	54
施策18 市民の健康づくりを支援する	56
施策19 医療体制を充実する	58

## 第5章 自然の豊かさがあふれるまち

施策20 豊かな自然を保全する	60
施策21 生活環境を保全する	62
施策22 ごみの発生を抑制し、再利用を促進する	64
施策23 地球温暖化対策を推進する	66

## 第6章 活力ある産業が育つまち

施策24 農業環境を整備する	68
施策25 農業の担い手を育成する	70
施策26 地産地消を進める	72
施策27 商業を活性化する	74
施策28 企業活力を高める	76

## 第7章 便利で快適な人にやさしいまち

施策29 地域の特色を生かしたバランスの良いまちをつくる	80
施策30 熊谷らしい景観をつくる	84
施策31 人にやさしいユニバーサルデザインのまちをつくる	86
施策32 便利に使える生活道路を整備する	88
施策33 機能的な幹線道路を整備する	90
施策34 公共交通を充実する	92
施策35 人でにぎわう緑あふれる公園をつくる	94
施策36 上下水道を整備する	96
施策37 安心して暮らせる市営住宅を整備する	98

## 第8章 地域に根ざした教育・文化のまち

施策38 学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる	100
施策39 確かな学力(知・徳・体)を身に付けさせる	102
施策40 安全で快適な学校づくりを進める	106
施策41 たくましく心豊かな子どもを育てる	108
施策42 魅力ある生涯学習事業、施設を拡充・整備する	110
施策43 芸術・文化活動を支援する	112

## 第9章 効率的でわかりやすい行財政

施策44 健全な財政運営を行う	114
施策45 開かれた市政を推進する	118
施策46 既存の施設を有効に活用する	120

## 第10章 リーディング・プロジェクト

あつさはればれ熊谷流プロジェクト	123
子育て応援プロジェクト	124
中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト	125
スポーツ・文化村整備プロジェクト	126
人口増プロジェクト	127

基本構想	129
------	-----

資料編	141
-----	-----